

# 宮城野萩だより

宮城野萩だより 第35号 WEB版

編集・発行 令和元年7月30日

仙台育英学園父母教師会

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2丁目4-1

Tel. 022-256-4141 Fax. 022-299-2408



## ■ 父母教師会会長挨拶



### 就任のご挨拶

仙台育英学園父母教師会会長  
小山 博史

父母教師会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。この度の総会におきまして、皆様のご信任により会長に就任することになりました、小山と申します。鈴木良英前会長の熱意と行動力を引き継ぎ、精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、本学園は、全校生徒が3,300名を超える学園です。少子化の時代ではありますが、私が在籍していた時に匹敵するほどの生徒数です。当時の私は、生徒会長と応援団長として、青春時代を過ごしておりました。甲子園での思い出や素晴らしい恩師との出会いなど本学園での学びは生涯の宝となっています。今も昔も本学園は、時代に合った教育が展開され、そこで学ぶ生徒が生き生きとしている姿が多く見られます。しかし、その反面、大規模であるがゆえに一人ひとりの行動の影響力が大きいとも言えます。SNS問題など生徒の取り巻く環境には危険も潜んでいます。父母教師会は、生徒たちが生き生きと学園生活を送ることができるように見守る体制を整え、教職員・保護者・生徒が三位一体となれるよう努めていきたいと思っております。

保護者同士の交流や生き生き学級などの行事もごさいます。積極的にご参加いただき、繋がりを作りましょう。交流を通して、保護者同士の親睦を深めることで、学園や大切な生徒一人ひとりを守る力が大きくなります。そして、その力は大規模な学園であるからこそ大きな大きな力となります。

最後に、今後とも仙台育英学園および父母教師会へのご理解とご協力をお願いし、就任の挨拶と致します。

# Report

## 平成31年・令和元年度 父母教師会総会



平成31年度・令和元年度の父母教師会総会が5月18日(土)、午後4時から宮城野校舎ゼルコバホールにおいて開催されました。全会員3,351名中、出席者169名(委任状2,360)で審議が行われました。

審議に先立ちまして、開会においては小山博史副会長から次のような挨拶を頂戴しました。

「皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、仙台育英学園父母教師会総会にご出席くださり、誠にありがとうございます。先程までジョイントコンサートが行われていましたが、いかがでしたでしょうか。秀光中等教育学校のオーケストラ部の部長としてクラリネットを演奏したのが私の娘でございます。

仙台育英学園はこうしたジョイントコンサートをはじめ各部活動、また各コースともこの時代にマッチした特色ある教育を展開しています。特に、熱心に指導される先生方が多数いらっしゃいますので、非常に頼もしく思っています。

仙台育英学園父母教師会は秀光中等教育学校と仙台育英学園高等学校の生徒の保護者が一丸となって生徒の学園生活をサポートできるように活動している会です。今後、皆さんに色々ご協力いただくことが多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします」

次に加藤雄彦理事長・校長先生より、お話がありました。

「ただいま紹介ございました。校長の加藤です。

今日はおそらく、五月晴れの時期で小中学校、場合によっては幼稚園の運動会や体育祭があつて、保護者の皆様もそちらに行かなければならないし、こちらの案内もあり、体がいくつあつても足りないですね。今年度も秀光の交響楽団と山

**Report**

平成31年・令和元年度 父母教師会総会

形交響楽団とのジョイントコンサートをご鑑賞いただいた方もたくさんいらっしゃると思います。昨年度も同じように山形交響楽団とジョイントコンサートを行いました。その趣旨は5月22日という日には仙台育英学園にとって忘れられない日なので、アイライオンデーと名前を付けています。今から14年前の2005年に多賀城市の八幡の横断歩道のところで青信号で渡っていた生徒の集団の列に国分町で飲酒をしていた男性がRV車を運転して、赤信号で突っ込んできた事件です。3名の方が犠牲となって、21名の方が大変な大けがをして、中には十七回も八回も手術をされた方もいました。今14年が経っていますけれども、今でもそのことは私を含めて教職員の中には大変大きな出来事として、心の傷として残っている部分です。その飲酒運転根絶運動を当時の生徒会の皆さん達が始めようとして、宮城県の議会あるいは県知事さんの方へ陳情に行きました。ご案内のとおり宮城県では5月22日は飲酒運転根絶の日となりました。しかし、なかなかこの飲酒運転による事故というものがなくなりません。本校としても生徒会を含めてたくさんの生徒たちが、このキャンペーンに参加して、それを忘れちゃいけないという意味で、ジョイントコンサートをしています。また、生徒の有志の方々にはこの日に献血のご協力をいただいています。これはあくまでも有志ということですが、多賀城校舎の方に、日本赤十字社の献血のバスが来て、特に差支えない有志の方に献血をお願いするということです。しかし、残念なことに宮城県の高等学校の生徒の献血に対する協力は年々減っております。そして協力する生徒数も減っています。逆に言いますと本校の生徒の協力の割合は変わらない分、仙台育英学園が協力する姿が目立ってきました。これはあまりいいことじゃありません。これは全県的に取り組んでいかないと成人になってから協力するかということなかなか足が遠のいてしまいます。このままでは宮城県に何かあった時に大変になりますので、そういう意味で協力いただいているということについてもご理解いただきたいと思います。

おかげさまで今年4月に新入生1,146名入学してまいりました。学級数としては31学級です。今年の入試を見てみますと、一番特徴的なのが、定員1,000名の募集の中で、630名の方がいわゆる特待生の試験あるいは自己推薦の専願の受験生です。ということで、1月の中旬にすでにご入学が決まっている生徒さんが大勢いらっしゃいました。私も校長をやりまして23年目に入りますが、初めてのことです。中学校の校長先生方にこの件についてお尋ねしますと、こういう答えが返ってきます。『最近の中学生の生徒、3年生、またお家の方々にはできるだけ早く結果が出ることを期待しているんですよ』

**Report**

平成31年・令和元年度 父母教師会総会

というようなお話をなさいます。それからもう一つは経済的なものです。『東日本大震災を受けて、その後、様々な復興事業があったとはいえ、それぞれのご家庭でご苦労されているんじゃないでしょうか』と、中学校の先生方がよくおっしゃいます。今、次年度に向けての募集準備をしております。これは今日初めて保護者である皆様方に申し上げますが、ウェブ出願を次年度からやっていく準備を進めているところであります。『ウェブ出願』、そんなの当り前の時代じゃないですかと言われるかもしれませんが、ご家庭にPCがない、場合によってはスマホをお持ちじゃないケースもあるわけです。それに向けた対応もしたいと思いますが、スマホがあればウェブ出願できるような仕組みでやっていこうと取り組んでいます。本校には4,700名を超える中学生が出願してきます。大きな間違いがあってはいけませんので、様々なケーススタディに対して、導入する以上は万全を期してやりたいと準備をしてみました。間違った入力をした場合にどうなるのか、出願までの期間、家にプリンターがない場合はどうなるのでしょうかといった様々な質問が出ます。本校では一度承りましたものについては中学校別に受験番号を付けて、発番し、プリントアウトしたものを中学校のところへ送り返します。こういう方法を取りますので、ご家庭にはプリンターは要らない、ということになります。中学校から受験票をもらって受けていただくので、そういう懸念はないと思っていますところ です。

皆様方のご支援ご協力がございまして仙台育英学園全体としましては非常に順調にここまで来ています。しかし、一番私が心配しているのはやはりいじめの事です。いじめ発生はゼロですということはありません。これは人間社会である以上、必ず起きます。起きた以上、速やかな対応をとります。現実そういう対応をしてきておりますが、私から見ますと、まだ深刻な話が出てきてないけど、出てくるだろうなというふうに予想しています。出てきたときにはご家庭の方々ともよくよくお話をしながら、これからの学校生活が様々な意味でトラブルが起きないように、なんとか努力していきませんが、解決というのは簡単にはできません。1 + 1 = 2みたいにいかないことがたくさんあります。今日お越しの皆様方ですとお分かり頂けると思いますが、一度崩れてしまった信頼関係を取り戻すというのは世の中でもなかなか難しいものです。そういう意味で、お子様方に関してそういうことが発生した場合に対応については学校側の方ではいろいろなノウハウを積み重ねていますので、それをご信頼いただきまして一緒に解決できるようお力添えをいただければありがたい

## Report

平成31年・令和元年度 父母教師会総会

なという風に思っているところです。

お願いばかりでございますが、今年度は本当ですと鈴木良英会長さんが冒頭でご挨拶をするところですが、残念ながらご自身の健康上の理由により体調を崩され、今も入院、リハビリされていますので、小山副会長さんが冒頭でご挨拶されました。このこともご理解いただきたいなと思っております。ありがとうございました」

次に、小坂信雄教育振興会会長より、次のような祝辞をいただきました。

「本日は晴天に恵まれ、仙台青葉祭りの太鼓の音や、私の住まいの近くの台原小・中学校から、子供たちの中総体へ向けて練習に励む音などが聞こえ、とても躍動を感じる季節になってまいりました。こうした日に父母教師会総会へご出席いただきまして誠にありがとうございます。

とかく高校となると父兄の足が学校から遠くなりがちですが、私は『学校と保護者が密接に手を結ばなければ成果が上がらない』と考えています。仙台育英学園は、本日皆さんにご覧いただいたような素晴らしいコンサートを例年開催しています。これは他校では見られない行事であり、私も毎年楽しく鑑賞しています。

おかげさまで仙台育英学園教育振興会は約40年になりますが、皆様方の協力をいただき何とか学校の後ろ盾となって、生徒が力を十分発揮できるよう対策を講じてきました。皆さまからの協力に心から感謝申し上げます。

教育機関における国からの助成は今から約40年前までの経常予算の38%を最高に年々減少傾向にあり、昨年度はついに10%を割っています。今後更に減少することが予想されます。そんな状況においても、仙台育英学園の生徒は大いに努力してすべての面で『逆転の仙台育英』として力を発揮していることは皆さんのご承知の通りです。

今年は高校総体が沖縄で開催されます。全国大会に多数参加している仙台育英学園は例年以上に経費が掛かるのではないかと危惧しています。生徒は諸活動に大いに力を入れ励んでいます。それを何とか応援したいと考えています。保護者のみなさまにおかれましては、“生徒の幸せのために”お力添えをいただければ大変ありがたいです。そして、生徒が本学園で楽しい生活を終え、次の段階に進むことを心から祈念しています。

この機会を通じてどうぞ学校側と十分に連絡を取られ教育効果が上がることを心からお祈り申し上げましてお祝いの言葉に代えたいと思います」

# Topics

## 山形交響楽団 & 仙台育英学園 ジョイントコンサート



教職員から

### 生徒の感性は世界を変える原動力

牛渡 純【秀光中等教育学校】

2019STAND コンサートが今年度も山形交響楽団と指揮者、園田隆一郎さんをお迎えして、5月18日ゼルコバホールで行われました。今年もこのコンサートを開催する意義を改めて全ての方に考えてもらうとともに、素晴らしい演奏に接する機会となりました。

『飲酒運転撲滅を訴えるのに学校内から少し声を上げただけでは伝わらないと思います。しかしジョイントコンサートを行い、飲酒運転撲滅をテーマに掲げることで校内の方や来校者の方に意識してもらうことができます。毎年続けることで

**Topics**

## 山形交響楽団&amp;仙台育英学園 ジョイントコンサート

3人の先輩方の絶対に起こってはならない事故を風化させないと思います』(M・H)『飲酒運転を0にすることは、残念ですがほぼ不可能であると思います。ジョイントコンサートを行うことにより、それを聴いた人はもちろんのこと、その出来事を知った人は飲酒運転の重さを理解するのにとてもよいイベントだと思います。0にできなくても限りなく0にすることは可能なのです。今後もこのようなイベントを聞く意味は十分あると思います』(T・N) 生徒たちの感想から、このコンサートの意義を理解し自分たちの考えをしっかりと持っていることがわかります。

『秀光に入って初めて楽器をやり、その難しさを改めて知った上で山形交響楽団の方々の演奏を聴いてとても圧倒されました。また、仙台育英を卒業した方のトロンボーンの演奏も聴けて自分の楽器もトロンボーンで、その難しさを知っているのでとてもすごいと思いました。また来年もプロの方達の演奏を聴きたいと思いました』(A・O)『今年のジョイントコンサートは私達が秀光祭を通して合奏の大変さ難しさを承知している上での参加となったが、やはりプロの方は一人一人の楽器の音色も桁違いに美しく、さらにみんなの心が一つになっているかのようにぴったりと合っていてやはりすごいのだなと実感した』(R・S) この二つは秀光中等教育学校生徒の感想です。音楽の授業で楽器を学んでいる秀光生らしい感想です。楽器の演奏の難しさや楽しさを知っているからこそ、演奏技術の高さや音色の美しさをより高いレベルで感じることができるということはなんと贅沢なことでしょう。

そしてこんな感想もありました。『先日行われたジョイントコンサートでは先輩、同級生、後輩みんなが輝いているように感じました。また先輩方のインタビューの時、みなさん夢を持っていて、素晴らしいと思いました。自分も明確な夢を見つけないとな、と思いました』(Y・A)『今回ジョイントコンサートを鑑賞して私は心を動かされた。彼らのパフォーマンスと素敵なハーモニーは当然だが一朝一夕で仕上がるような物ではなく、ただただ「凄い」の一言だった。圧巻だった。演奏には会場全体が一つとなっていた。彼らにはそのような力があるのだと思う。誰もの心を掴んで、全体を一つにする力だ。そして私も、何かを通してたくさんの人々の心を掴むことができる人間になりたい』(K・K)

音楽というもの、コンサートの力をいうものを今回も再認識し、生徒たちの伸びやかな感性に勇気づけられ、大いに感動させてもらいました。このコンサートの実施にあたりご尽力下さった諸先生方、関係の方々に深く御礼申し上げます。

## Topics

### 山形交響楽団&仙台育英学園 ジョイントコンサート

生徒から

## この経験を糧に

仙台育英学園高等学校 秀光コース 2年 小山さん

オーケストラ部にとって、貴重な経験となるこのコンサートは、プロの演奏家のみなさんと共演できる憧れの舞台です。コンサートに向けて、プロの演奏家のみなさんからご指導いただきながら、練習に励みました。私は、入部して5年となりますが、本番時の緊張の度合いは毎年変わりません。後輩達も緊張の中、ご指導くださった先生やこのコンサートで演奏できる喜びを感じながら精一杯演奏したと話していました。最後の曲「ラデツキー行進曲」では、会場から温かい拍手をいただきました。鳴り止まない拍手に感動し、部長として上手くまとめることができない日々の悩みが一瞬で消えました。コンサートを終えて、プロの演奏家のみなさんと共演できた喜びだけではなく、精神面も鍛えられました。これからも悩みが尽きないとは思いますが、副部長と一緒に、しっかりと部をまとめていきたいと思っています。そして、音楽を愛する部員と共に活動を充実なものにしていきます。



# Message

## I-Lion Day 2019

「第13回宮城県飲酒運転根絶県民大会」より

## 飲酒運転根絶メッセージ

【会場：仙南芸術文化センター】

2005年5月22日。この日は、新入生の恒例行事である「さつき祭」の一環として、本校多賀城校舎から松島研修センターまで、約22.5kmのウォークラリーが行われていました。そして、出発したばかりの早朝、生徒の列が（八幡）交差点に差し掛かった時。飲酒運転をしたRV車が生徒の列に突っ込んできました。この事故により、3人の先輩方の尊い命が突然奪われ、多くの人が心と体に深い傷を負いました。仙台育英学園では、事故で犠牲となった3人のご冥福を心から祈り、二度とこのような悲しみが起こらないよう、そしてこの事故を風化させないために、毎年5月22日を「I-Lion Day」に制定しております。

今年で、あの悲惨な事故から14年という月日が経ちます。14年と聞くと、とても長い時間が経過したように思えますが、飲酒運転は今日まで無くなることはありません。人々の飲酒運転に対する意識が変わらなければ、同じ過ちが何度も繰り返されます。飲酒運転による交通事故は、被害者、運転していた人だけで無く、同乗していた人、家族、友人、恋人など、周りのたくさんの人々の人生をも一変させてしまいます。しかし、飲酒運転は、一人一人が『しない・させない・許さない』ということ意識することで、必ず未然に防ぐことができると思います。

あのような悲しい事故を、もう二度と起こさないために、私たちは、安全な交通社会の実現を目指し、宮城県民の皆様と共に、これからも飲酒運転根絶に全力を尽くすことを、ここに固く誓います。

令和元年 5月22日  
仙台育英学園高等学校  
生徒会長 楯



# Data 2019 進路実績

## 合格者総数 905 名!!

(秀光中等教育学校 64 名 仙台育英学園高等学校 841 名)



特別進学コース



外国語コース



英進進学コース



情報科学コース



フレックスコース



技能開発コース

東北大学 4、電気通信大学 2、横浜国立大学 1、茨城大学 3、  
 千葉大学 1、新潟大学 1、埼玉大学 1、宇都宮大学 1、静岡大学 1、  
 鳥取大学 1、琉球大学 1、旭川医科大学 1、岩手大学 7、秋田大学 1、  
 宮城教育大学 3、山形大学 14、福島大学 1、国際教養大学 1、  
 宮城大学 13、横浜国立大学 1、福井県立大学 1、秋田県立大学 1、  
 会津大学 1、福島県立医科大学 1、慶應義塾大学 1、早稲田大学 3、  
 上智大学 2、明治大学 7、青山学院大学 6、立教大学 9、  
 法政大学 10、中央大学 13、津田塾大学 1、東京理科大学 6、  
 芝浦工業大学 8、学習院大学 1、東京女子医科大学 1、  
 東京女子大学 1、日本女子大学 4、同志社大学 7、立命館大学 8、  
 岩手医科大学 4、東北学院大学 124、東北福祉大学 42、  
 東北工業大学 39、東北文化学園大学 35、東北医科薬科大学 20、  
 宮城学院女子大学 26、尚絅学院大学 22、石巻専修大学 11 / ほか

### ■ 2019 年度大学入試 合格者総数

(2019 年 4 月 26 日現在)

	四年制大学		短期大学		計
	国公立	私立	国公立	私立	
現役	53	687	0	35	775
過卒	14	115	0	1	130
合計	67	802	0	36	905

### 就職率男女とも 100%

■ 2019 年 3 月 就職者

■ 各種・専門学校への進学者

男子	女子	合計
73	36	109

男子	女子	合計
118	114	232

# Voice 卒業生の保護者から

## Voice-1

### 11年間の学び舎

【秀光卒業生 母】

我が家の4人の子供達は、秀光中等教育学校でそれぞれ6年間を学ばせていただきました。現在は社会人、大学生として、それぞれの道を元気に歩んでおります。

秀光では“Language, Music&Science”を教育の軸とし、国内はもちろんのこと世界中で活躍出来る人材育成の為、豊かなプログラムのもと、様々な経験をさせて下さいました。海外研修や、プロのオーケストラの方々との演奏等々、親だけでは到底させてあげることの出来ない経験ばかりでした。

その中でも親としてなにより喜ばしいことは、6年間の学校生活や様々な行事を通し、先生方が子供達の個性を見出し、輝かせて下さったことでした。三者三様の子供達が苦手を前に逃げようとしたり、悔しんでいる時に、先生方はいつも丁寧な指導し、苦手を得意に変え自信を持たせて下さいました。行事本番での、自信に満ちあふれ堂々とした姿に、苦労していたことを思い出し、子どもの数以上に胸が熱くなったものでした。

たくさんの友人、個性溢れる先生方に囲まれ過ごした秀光での学生生活は、豊かで貴重であり、子供達の人生の糧となっていくことと思います。同時に、親としても共に成長出来た特別な時間でした。

卒業して間もなく「秀光は恵まれた環境だったんだね」と、どの子も口にします。新しい環境で過ごすことで秀光での尊い学びに気が付き、感謝しているようです。

めまぐるしく変化する社会に対応すべく、秀光という学び舎で型にはまらずのびのびと自信を持ち育った子供達が、いつの日か社会で花開くと願っています。

仙台育英学園、秀光中等教育学校とのご縁に感謝いたします。



## Voice 卒業生の保護者から

### Voice-2

## 目標に向かって過ごした日々

【英進進学コース卒業生 母】

息子は秋田市で小学1年生からサッカーを続けてきました。中学3年生の時、所属チームが東北代表として全国大会に出場しました。その時、全国レベルの高さを経験し「自分も高校でもっと成長し、もう一度全国大会に出場したい」という目標を持ちました。

その頃、夫が仙台で単身赴任をしていたこともあり、サッカーの出来る環境が素晴らしい仙台育英に進学することを決心し家族で仙台に引っ越してきました。

サッカー部に入部し毎日100名を超える部員がしのぎを削って練習している中、2年生の始めに足のケガをしてしまいました。チームメイトが黙々と練習している時、自分が練習できないことに焦り、無理をしてケガを繰り返してしまいました。

サッカーが思うように出来ず落ち込む息子に、私は励ましの言葉をかけることしか出来ませんでした。

ケガでサッカーが出来ない時間は筋トレやリハビリ、そして大学進学を目指し勉強時間を増やそうと気持ちの切り替えが上手く出来たようです。

それから英検2級に合格し、3年生の4月から8月まで立命館大学情報理工学部の高大連携プログラムに参加しました。

Webでの授業、そして実際に大学に行き授業も受けました。

課題のレポートに取り組むうちに、大学での学びのイメージを掴むことが出来たことは大変良い経験になりました。

全てのプログラムをクリアすると立命館大学より修了証を頂きました。

そして提携校推薦を頂き、おかげ様で合格することが出来ました。

サッカーでの目標達成は叶いませんでしたが、希望の大学には進学出来、現在サークルでサッカーを楽しみつつ夢に向かって大学生活を楽しんでいるようです。

このようなチャンスを頂き先生方に心より感謝申し上げます。有難うございました。



## Essay 新一年生から

### Essay-1

## 「仙台育英学園の歴史と私たちの未来」

特別進学コース 1年 鈴木くん

令和という新しい時代に、人類はAI分野における画期的な進歩を実体験するに違いない。だからこそ私は、例えば学者のような、人が人に「創造した大切な何か」を継承する仕事に就きたいと思う。

「ほえる！ライオン先生」を読んで、仙台育英学園の創設者である加藤利吉先生の人生を辿りながら、江戸時代から積み重ねられた人間の叡智が、この学び舎の礎となっている事実を知った。百年以上前に、本校の教育理念である「至誠」「質実剛健」「自治進取」は成熟され、現在に至るまで大切に引き継がれている。

今の私たちと大して変わらぬ年齢で、過去を知ること、率先して未知の世界に目を向けること、そしてなにより、かけがえのない人間の命と家族愛の重要性を知り、困難に立ち向かう揺るぎない行動力を確立していた加藤利吉先生の精神が、そのまま仙台育英学園の理念に宿ったことは必然と言えるだろう。その理念が、1世紀もの時を超え、今日の仙台育英学園を支え続けていることに、私は驚きと共に、感動の念を禁じえない。偉大な先人の様に成ることは難しいとしても、そこから何かを吸収し、自分の進路や未来に生かしたいと思う。この高校に出会えたこと、そして通学を支えてくれる家族に感謝し、学園の理念に恥じない3年間を送りたい。



ミーティングルームで【特別進学コース】

## Essay 新一年生から

### Essay-2

## 「高校生としての生活」

外国語コース 1年 武田さん

期待と不安を胸に、この仙台育英学園という新たな学び舎の門を潜った入学式から数ヶ月が過ぎました。この数ヶ月間は毎日が新しい事への挑戦であり、とても新鮮な時間でした。

私は、今日までの学園生活を通して、「自律」と「自主」の重要性を強く感じました。高校生になり、自分たちの意見が尊重される機会が増えるとともに、自分たちの行動に対する責任も大きくなりました。今までとは違い、自分や周りに甘えず、自ら考え、判断し、責任を持って行動に移していく必要があります。仙台育英生として、これから社会に出る一人の人間として恥じぬよう、自分を律して生活していきたいと思います。また、高校生活を通して、自分の目標に対し、これまで以上に積極的に向き合わなければなりません。

与えられるのを待つのではなく、自主的に取り組む力・姿勢が求められます。様々な分野において目標を明確にし、その達成に向けて積極的に活動していきたいです。

これらのことを踏まえ、私は、これからの学園生活を、周りの人や環境に感謝し、実りのあるものにできるように、精進していきたいと思います。



グローバルルームでの様子【外国語コース(2年生)】

## Essay 新一年生から

### Essay-3

## 「私の高校生活について」

技能開発コース 1年 吉田さん

私は、この仙台育英学園で大学進学を目指して頑張っていきたいと思っています。技能開発コースは、資格取得に力を入れているコースですが、私は、学校設定科目として朗読・スピーチ講座を選択しています。この講座で人前でスピーチや発表をする時に上手に話す方法について学んでいます。こうした実用的な学びができるのが当コースの魅力です。

クラスには、気軽に話せるクラスメイトがいて日々の生活が楽しいです。これから約1年間クラスメイトとお互いに助け合いながら過ごしていきたいと思います。

学校生活に関しては、以前は心配なことが多く不安だらけでしたが、クラスメイトや先生方が親身になって接して下さったお陰で少しずつですが不安はなくなっていきました。

勉強面では、私は中学校の頃あまり勉強が得意ではありませんでした。しかし、努力すれば報われると信じて自分を変えようと思いました。テストが近い時はシャトルバスの時間まで、図書室で勉強してしっかりとテストに備えました。今後、大学進学を目標にして、1回1回の定期試験を大切にして勉強を進めていきたいです。

入学して約3ヶ月が経ちました。これからもけじめをつけて将来の自分に役立つ高校生活を送りたいと考えています。



多賀城校舎図書室

# Records

## 令和元年度 宮城県高等学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1～3位まで

### ■仙台育英学園高等学校

#### 《優勝》

なぎなた 2年ぶり20回目  
女子エアライフル 3年連続 4回目  
女子ビームライフル 3年連続 14回目  
男子ビームライフル 6年ぶり 14回目  
ラグビー 24年連続 28回目  
陸上競技男子トラック

#### 《準優勝》

剣道男子  
陸上競技男子総合  
陸上競技女子総合

#### 《3位》

陸上短距離女子(400mリレー)  
サッカー男子  
バドミントン女子  
卓球男子



## 令和元年度 仙台市中学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1～3位まで

### ■秀光中等教育学校【前期課程】

#### 《優勝》

野球(県大会出場)

## 令和元年度 宮城県中学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1～3位まで

### ■秀光中等教育学校【前期課程】

#### 《準優勝》

野球(東北大会出場)